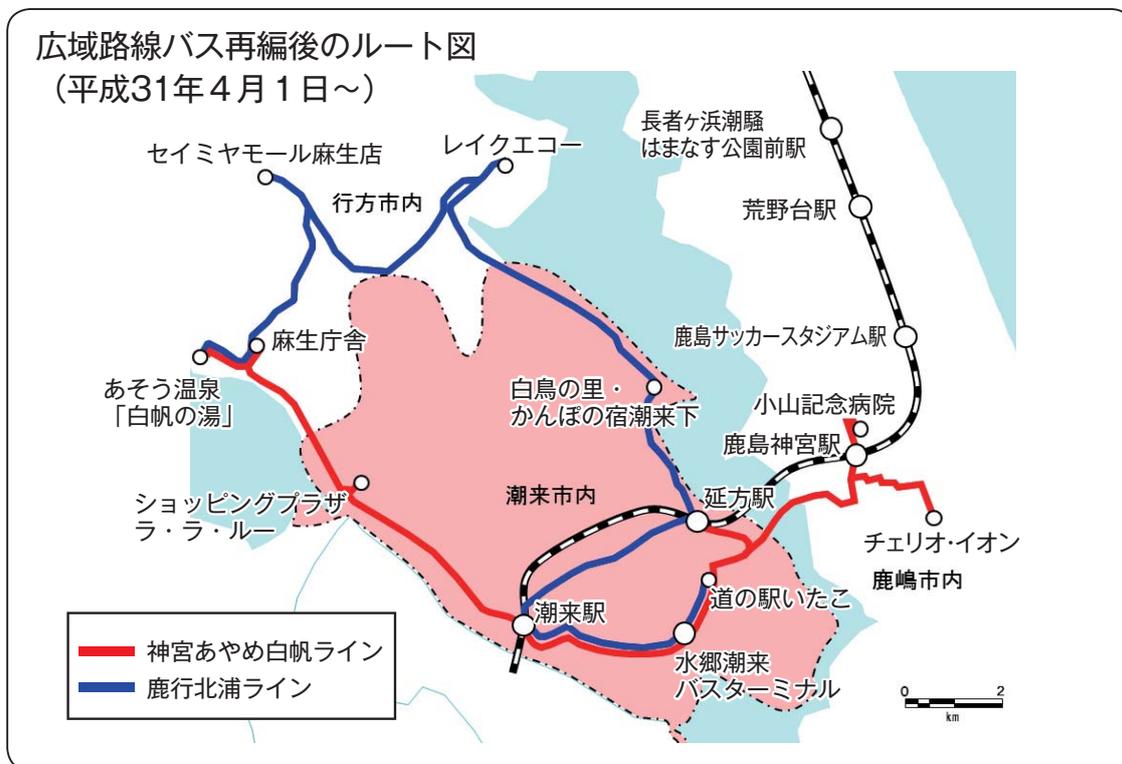


広域路線バスの再編を行いました

広域路線バスは平成31年4月1日から「神宮あやめ白帆ライン」と「鹿行北浦ライン」の2路線による運行となるなど、大幅な再編を行いました。再編の概要は以下のとおりです。皆様のご利用をお待ちしています。



▶再編のポイント

①バス路線の統合等

「神宮・あやめライン（潮来駅～チェリオ・イオン）」と「白帆・あやめライン（延方駅～麻生庁舎）」の2路線を統合し、「神宮あやめ白帆ライン（チェリオ・イオン～麻生庁舎）」としました。「鹿行北浦ライン（潮来駅～鹿島大野駅）」は運行区間を見直し、「鹿行北浦ライン（道の駅いたこ～あそう温泉「白帆の湯」）」としました。

②鉄道や路線バスとの接続性向上

両路線とも鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ時間（待ち時間）を短縮し接続性を向上させました。地域内での通院・通学はもとより、乗り継ぎによる地域外（佐原・鉾田方面）への移動もしやすくなるよう設定しました。

③運賃の低減

「神宮あやめ白帆ライン」は乗車距離当たりの運賃を200円～最大500円として設定し、これまでに比べ低減するとともに、新たに定期券と回数券を導入しました。「鹿行北浦ライン」は乗車距離に関わらず運賃を一律200円として設定し、これまでに比べ大幅に低減しました。

④運行ルートの見直し

鹿嶋市内はこれまで一部ルートで国道51号バイパス側を通行していましたが、より施設等が立地している市街地側へ運行ルートを変更しました（小山記念病院についてはこれまでどおり経由します）。行方市内では新たに「あそう温泉「白帆の湯」」を経由地として設定しました。

⑤バス停の新設

両路線共通で日の出地区内に「いつかストア前」、「日の出こども園前」のバス停を新設し、加えて「神宮あやめ白帆ライン」では洲崎地区内に「洲崎」のバス停を、鹿行北浦ラインでは大生原地区内に「えんぴつ坂入口」のバス停を新設しました。

各バス路線の詳細については、潮来市ホームページ又は各路線バスチラシをご覧ください。また、近日中に区長回覧等により市内の公共交通を網羅した「潮来市公共交通利用ガイド」を市民の皆様へ配布させていただく予定です。皆様のご利用をお待ちしています。

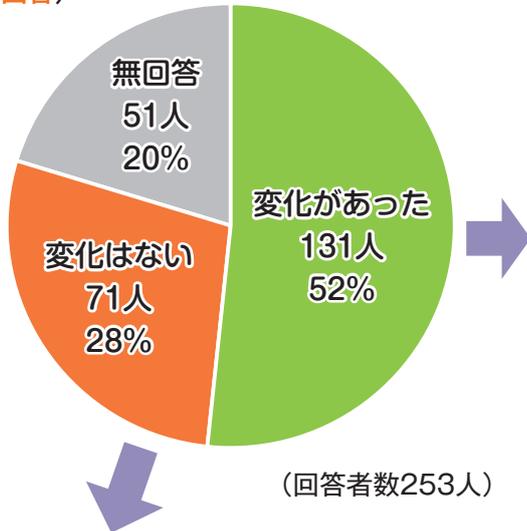
【お問合せ】秘書政策課 秘書政策グループ ☎63-1111 内線212・213

アンケート調査等により寄せられた公共交通に関する市民のみなさまの声をご紹介いたします。
ご協力をいただきありがとうございました。

「潮来市公共交通シンポジウム（平成30年12月16日開催・参加者数320人）」の際にいただいたご意見

質問) 本シンポジウムに参加して、公共交通に対する考え方に変化はありましたか？

回答)



「変化があった」と答えた方の主な意見

- ・高齢になって免許返納するときに利用を考えていましたが、もう少し前倒してバスを利用しようと思った。
- ・安心、安全のためにも公共交通を大いに活用しよう心掛けたい。
- ・時間にゆとりをもって、できる限り公共交通を利用するようにしたい。地域の公共交通の維持の一助となるように。
- ・必要としている人たちのために公共交通の継続を。
- ・広域路線バスはすぐに効果がでるものではなく長い目で見ていく必要がある。
- ・当初は高齢者への対策としての考え方が強かったが、環境や若者への必要性や総合的な利点分かった。
- ・環境問題、経済、健康等を考慮し、公共交通の利用促進に努めたい。
- ・公共交通は交通渋滞や事故を減らすだけでなく、行政の他の政策による支出を抑制する効果があることがわかった。
- ・市の公共交通に関する計画が理解できた。
- ・公共交通は社会の在り方に関わる重要なインフラである。収益性だけで考えてはいけない。
- ・公共交通が充実し、友人知人がグループで楽しく出かけられるようになると、利用も増加すると思う。
- ・自家用車による送迎についてももう少し深く考えてみようと思った。
- ・潮来市に来てもらえるような広域観光として活性化すると良い。市外の人が利用することで地域が経済的に潤う。
- ・公共交通の支出は、赤字補填なのではなく、地域を支える費用なのであるということが分かった。
- ・バス路線が赤字かということではなく、「まち全体を黒字にする」ということが大切だと分かった。

「変化はない」と答えた方の主な意見

- ・現在の公共交通を利用するには不便であるから
- ・バス停が遠いため利用できない。
- ・バスを利用したことがないから
- ・利用者目線での充実したサービスを期待する。
- ・マイカーが生活の中心になっているから

「バス路線沿線にお住まいの方々に対するアンケート調査（平成30年11月実施）」の際にいただいたご意見

質問) あなたは10年後もマイカーを運転していますか？

回答) ※回答者の約7割が60歳以上



- 今と同様にマイカーが主な交通手段だと思
- わからない
- マイカーの運転は減少していると思
- 無回答
- 運転免許返納等により、マイカーを運転していないと思

「10年後も今と同様にマイカーが主な交通手段である」と回答した方は26%でしかありませんでした。ますます進行する超高齢社会等も見据え、移動手段の確保を図る必要があります。

潮来市では、今後も市民の皆様のご意見をお伺いしながら、より良い施策へと反映させるため、各種アンケート調査等を実施してまいります。皆様のご協力をお願いします。

【お問合せ】 秘書政策課 秘書政策グループ ☎63-1111 内線212・213